

若手職員の声

in 加古川労働基準監督署

加古川労働基準監督署 労災課
厚生労働事務官 任官2年目
池田 泰樹

- 神戸出身
- 法学部卒業(民法ゼミ所属)
- 神戸どうぶつ王国が好き

加古川労働基準監督署 労災課
厚生労働事務官 任官2年目
笹山 百華

- 淡路出身
- 法学部卒業(刑法ゼミ所属)
- 御朱印集めてます

Q. 兵庫労働局を選んだ理由は？

池田

私は神戸で育ち、この街が好きだと思い、地元で貢献できる仕事がしたいと考えていました。様々な国家一般職の説明会に参加する中で、業務内容はもちろんですが、兵庫労働局の職員の方の雰囲気惹かれ、「ここで働きたい！」と思い、兵庫労働局に決めました。

笹山

私は、学生時代に他局で労働局のインターンシップに参加し、労働を通じて人々の生活を支える仕事に魅力を感じたことが、労働局を志望した理由です。また、地元で働きたいと考えていたので、兵庫県内で異動しながら働き続けることができる兵庫労働局に興味を持ちました。

Q. 基準系統を選んだ理由は？

池田

私は学生時代にテニス部に所属していたのですが、部活中のけがで1年ほどリハビリをする必要があり困ったことがありました。この経験から労災のケガや病気で困っている人を支える仕事に興味を持ちました。そのため、私は最初から基準系事務官を第一志望として考えていました。

笹山

基準系事務官と共通系事務官のどちらを選ぶか最後まで悩んで、正直「勢い」で決めてしまったかもしれませんが(笑) どちらの仕事も困っている人を支える仕事ですが、特に、けがや病気で困っている人の力になれるところに魅力を感じ、基準系事務官を選びました。

Q. 現在の業務内容について教えてください。

池田

私は、「労災補償業務」を担当しています。仕事や通勤が原因でケガや病気をした人に対して、治療費や休業補償、障害補償など様々な種類の補償を給付しています。具体的には、窓口で請求書を受付、請求内容を確認し、保険金をお支払いできるかどうか、いくら払えるのか等給付の可否を審査する仕事です。デスクワークばかりと思われがちですが、事業場や災害現場に実地調査に行くこともあります。



労災補償業務とは

労災保険制度とは、仕事や通勤が原因で負傷又は病気になった場合に、労働者やそのご遺族に対して、必要な保険給付を行う保険制度です。

労働基準監督署では、給付請求書の受付審査、決定までの事務を担当しています。

労災保険の審査をするにあたり、聴取調査(電話・面談)や実地調査を行ったり、医学的な意見を求めるため主治医面談等も行っています。



笹山

私は「労災補償業務」に加えて、「労働保険適用徴収業務」も担当しており、主に、労働保険の加入・脱退等の手続きを行います。一般に労働者を雇った場合、労働保険に強制加入していただくことになりますが、事業主でも特別加入という手続きを行えば労働保険に加入することが可能となります。そのため、「すべての労働に関わる人が安心して働けるようにする」ことが私の仕事です。

年に一度、労働保険の年度更新を行うのですが、窓口で100万円以上の大金を扱うこともあり、緊張感があります。

労働保険適用徴収業務とは

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称です。

労働局では、労働保険加入書類の審査、労働保険料の審査、収納・徴収の業務を行っています。また、未手続の事業主に対する手続き指導、立入検査、滞納事業主に対する差押執行等の業務も行っています。

※「年度更新」とは・・・年に一度、事業主に新年度の概算保険料を納付するための申告・納付と前年度の保険料を清算するための確定保険料の申告・納付の手続きを行っていただくことをいいます。

Q. お二人は任官2年目ですが、成長したなと感じることはありますか？

池田

私はもともと人見知りで人と話すことがすごく苦手で(笑)仕事を始めてから、電話対応や説明業務に苦戦し、一年目の時に一度大きな失敗を経験しました。その時はすごく悔しい思いをしたのですが、経験を積んでいく中で、少しずつ自分の言葉で相手に分かりやすく説明ができるようになり、成長を実感しています。

笹山

最初は労災保険制度の全体像が理解できず、相談対応でもうまく説明できないことがありましたが、経験を積む中で制度への理解が深まり、今では全体像を見通して説明できるようになりました。また、私は人と話すことが大好きなのですが、話すぎて要点を聞き漏らすことがありました。ですが、今では必要な内容を的確に聞き取れるようになりました。

Q. 「基準系」の厚生労働事務官の魅力を教えてください！

池田

基準系事務官の魅力は、多種多様な事案を経験する中で、専門性を高められるところです。経験年数に関係なく、一年目から複雑困難事案を任せてもらえることもあり、少しずつですが医学的な内容も分かるようになってきました。経験を積むことで、難しい事案でも一人で対処できることが増えていく楽しみがあると思います。また、調査の進め方について調査官個人の裁量が大きいため、自分でスケジュール管理もしやすく、プライベートとの両立がしやすいです。



笹山

基準系事務官は、共通系事務官や労働基準監督官と比べて、仕事内容が想像しにくいかもしれません。しかし、実際に働いてみて、本当に多くの困っている人を助けられる仕事だなと日々感じています。一言で「ケガ」といっても、色々なケガがありますし、同じようなケガであったとしても休業の必要性や残存障害が異なったりもします。そのため、様々な人のニーズにお応えし、労働に関わる人を縁の下で支えられるこの仕事を、私はすごくかっこいいと思っています。また、様々な産業分野の調査を行うこともあり、実際には働いていないですけど、その分野で働く労働者の立場に立って色々な想像ができるところに面白みがあります。



Q. ワークライフバランスについて

池田

自分で業務のスケジュールを組むことができるので、好きな時に有給を取ることができます。上司の方も有給を取得される方が多いので、部下である私も休みやすいです。また、今年から15分単位で有給を取得できるようになったので、ワークライフバランスが実現しやすい職場であることは間違いのないと思います。

笹山

繁忙期の時は少し残業をすることもあります。基本的には定時に帰宅しています。職場全体で皆さん「早く帰ろう」という雰囲気があるので、定時に退勤しやすいです。また、同期との仲が良く、プライベートでも会ったりすることがありますが、仕事の相談をしやすいこともあり、同期の存在はとても心強いです。

Q. 最後に、受験生へのメッセージをどうぞ！

池田

筆記試験対策だけに気を取られがちですが、実際に長く働くことを考えると、業務内容や職場の雰囲気を知り、自分がそこで働く姿をイメージしておくことも必要かなと思います。試験勉強も大変だとは思いますが、説明会などに参加し、自分に合った仕事を見つけられるよう頑張ってください！

笹山

いろいろな種類の公務員があるので、どこにするべきか悩んでしまう人は多いと思います。兵庫労働局は他局と比べ同期が多いですし、また、先輩方と一緒に責任のある仕事に挑戦ができるので、ぜひ皆さんも兵庫労働局と一緒に働きましょう！頑張ってください！

